



オランダ研修 2014年3月10日から24日

長崎大学経済学部国際ビジネス教育研究センター

ライデン大学での研修に経済学部から学部生12人が参加しました。山下龍（言語教育研究センター）と小野康子（経済学部）の2人の教員が引率しました。

ライデン大学では日蘭関係と蘭学、オランダ芸術史、オランダ語入門などの授業を受けました。ライデン市内ではシーボルトハウス、ライデン大学付属植物園、アステラス製薬を訪問しました。このほか、ハーグで国会議事堂や、国際司法裁判所を訪問したり、アムステルダムで国立博物館を見学するなど、オランダ3都市を訪ねる2週間の研修でした。

ライデン大学には欧州最古の日本学科があります。多くの日蘭関係および日本の書物が所蔵されています。日蘭関係と蘭学の講義、所蔵図書、資料の閲覧では、シーボルトの日本に関するコレクションを初め、250年以上前の図書を手に取り、当時の日本とオランダの関係を学びました。『重訂解体新書』やそのもとになった『ターヘル・アナトミア』も手にとることができました。



写真：ライデン大学所蔵図書、資料の説明

研修の前半にはオランダ語の授業を受け、簡単な挨拶ができるようになりました。買い物や学生交流の際にオランダ語で挨拶をすることで、会話を盛り上げるきっかけになりました。

学生交流では、ライデン大学日本学専攻の学生サークル TANUKI や、よさこいチーム「雷電（らいでん）」の学生と親睦を深めました。学生会館で交流をしたり、チーム「雷電」の練習に参加し一緒に踊りを楽しんだりしました。彼らに付き添われ、市内散策やショッピングにも出かけました。



写真：よさこいチーム「雷電」のはっぴを着て

アムステルダム国立博物館への訪問では、レンブラントの「夜警」やフェルメールの「牛乳を注ぐ女」などの絵を間近で鑑賞することができました。博物館訪問前には、オランダ芸術史の講義で、各年代の絵画の特徴や歴史なども学びました。



写真：アムステルダム国立博物館



写真：修了証書授与式の後で

授業最終日は、研修で学んだことを二人一組で発表しました。レンブラントやゴッホ、学生交流、日本とオランダの食、長崎とオランダの関係について英語で発表しました。その後コース修了証書を受け取りました。授与式は、ライデン大学の博士号授与に使用される特別な部屋で行われました。

研修日程

	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
午前		授業「ライデン大学史」	授業「オランダ語(挨拶)」	授業「オランダ語(買い物)」	授業「日蘭関係と蘭学」	散策
午後	ゴッホ美術館 アンネの家	市内史跡めぐり 歓迎会	学生交流 市内散策	学生交流 市内散策	大学図書館	
	17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)
午前	授業「日本からオランダへ」	ハーグキャンパス訪問	授業「オランダ芸術史」	大学附属植物園 シーボルト博物館	発表	散策
午後	企業訪問 アステラス製薬	国会議事堂 国際司法裁判所	アムステルダム 国立博物館	発表準備	修了証書授与式 送迎会	



写真：ライデン大学ハーグキャンパス



写真：ライデン大学本部